

# 令和7年度 敦賀市立敦賀南小学校 学校経営方針

## 【学校経営方針】

### 顧客（子ども）第一主義

学校の顧客（クライアント）である「子ども」と「保護者」。その「顧客」の「利益」を第一に考え、提供するのが教育公務員の仕事（使命）。その「利益」とは、「学習権（機会）の保障」「自己実現の場の提供」「安心・安全な環境の提供」である。

## 【学校教育目標】

### 「すべての南の子に笑顔を」 Well-being

誰一人取り残さず「利益」が保証された子どもは「笑顔」になる

＜「やるべきこと・役割」＝ミッション＞

## 【方針に基づき実現に向けて取り組む内容】

### 1 誰一人取り残さない「学校」

- (1) 持続可能な社会を構成し、学び続ける人材を育成する授業の提供。
- (2) 特性に応じて「学習の権利と機会」を保障する教育活動および環境の提供。
- (3) すべての児童の「所属欲求」と「承認欲求」を満たす、安心で安全な集団の提供。

### 2 教育効果を検証し改善し続ける「組織」

- (1) 「同調圧力・予定調和」「3K主義（経験・勘・気合い）」「教師主導・管理主義」を排除。  
個の能力が発揮され、失敗を恐れず新たな取り組みに挑戦できる組織。
- (2) 「努力至上主義」「正解・減点主義」「完璧・自前主義」を排除。費用対効果を含め、教育効果を意識し、児童の最適解を求めるために変容する組織。
- (3) 「ダイバーシティ」多様性を認め「インクルーシブ」全員を受容する組織。

### 3 広い視野と高い視点を持ち進化する「教職員」

- (1) 「他責思考」「手段の目的化思考」「横並び・安定事なれ思考」「極論思考」「無自己分析思考」「学校内価値過大視思考」これらのNG思考に陥ることなく、自分にかかる「バイアス」を疑い、クリティカル・シンキングにより、自己改革しようとする意欲。
- (2) 多面的・多角的な見方・考え方方に身に付け、目的を見失わずに物事を論理的に思考する技能、およびそれを効果的に伝える表現力。
- (3) 子どもの権利条約および法令に基づき、学級マルトリートメントを排除し、児童に適切なタイミングで納得解・最適解が提供できるプロとしての指導力。

＜「なりたい将来の見通し」＝ビジョン＞

## 【めざす学校像】 「笑顔で登校し笑顔で帰宅できる学校」

学ぶ喜びに出会う授業

関わる楽しさを実感する学級

自己を肯定してくれる教師

## 【めざす児童の姿】

ひとりであるく **夢**

みんなとあるく **仲間**

力のかぎりあるく **挑戦**

- ◇「ひとりであるく」 **自律する子**  
『夢』を実現するために、自分に適したやり方で「生きるための資質・能力を獲得しようとする姿
- ◇「みんなとあるく」 **協働できる子**  
『仲間』と共に存・共生しながら、他者を尊重し、多様性を認め、目的を達成しようとする姿
- ◇「力のかぎりあるく」 **あきらめない子**  
失敗や間違いから学び、よりよい自分を目指し、あきらめずに『挑戦』し続ける姿